

COP14 ユース活動報告

生物多様性わかものネットワーク
引地慶多・矢動丸琴子



2018.12.18発表資料

生物多様性わかものネットワーク
無断引用・転載禁止

本日の構成

■ 引地からの報告

- 国内での事前準備
- 現地での活動(日本ユース：JYBN)

■ 矢動丸からの報告

- 現地での活動(世界ユース：GYBN)
 - ・ステートメント
 - ・キャンペーン・ブース
 - ・サイドイベント

自己紹介

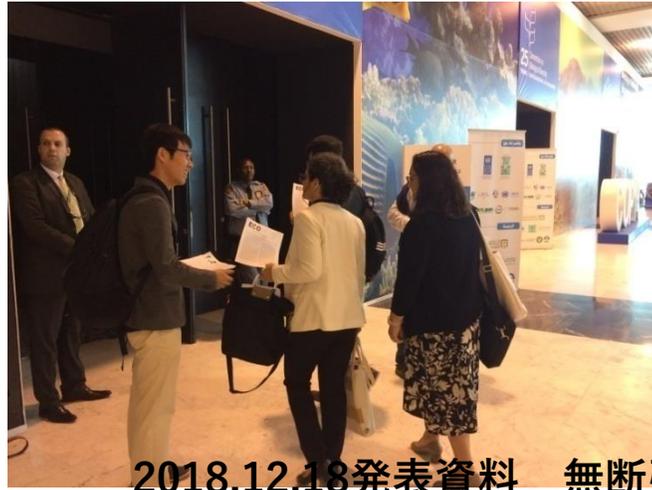
引地 慶多（ひきち けいた）

社会人3年目。

JYBN発足時からメンバー、2018年9月まで代表。

大学1年生の時にCOP10のサイドイベントに参加し、
それがきっかけで生物多様性に関する活動を行うようになった。

注目議題：気候変動と生物多様性、キャパシティビルディング



国内での事前準備

現地に行くことができる代表者を決定



COP14の議題についてのインプット



団体内での勉強会・意見交換会



現地へ！！



国内での事前準備

団体内での勉強会・意見交換会



COP14
事前意見交換会

2018.10.28(日) わかものネット定例会
政策提言チーム：引地慶多・矢動丸琴子



←勉強会の様子

前回のSBSTTAでGYBNはGene Driveについてのキャンペーンを行った。そのためJYBN内でも勉強会を実施。

会議・サイドイベントへの参加とブログでの報告

Global Youth
Biodiversity Network
(GYBN)の一員としての
活動

UNDB-DAY及び
ブース展示のお手伝い

独自活動のチャレンジ

現地での活動：日本ユース

会議・サイドイベントへの参加と
ブログでの報告

会議は二箇所で行われるため、二人で分担して議題の追跡を行った。会議の合間と会議後に行われるサイドイベントにも参加。それらの内容をIUCN-Jの[ブログ](#)で報告した。



←会議場



サイドイベント
会場の一例→



GYBNの一員としての活動
2018.12.18発表資料

GYBNの活動内容については
後ほど動画より詳しく紹介。
無断引用・転載禁止

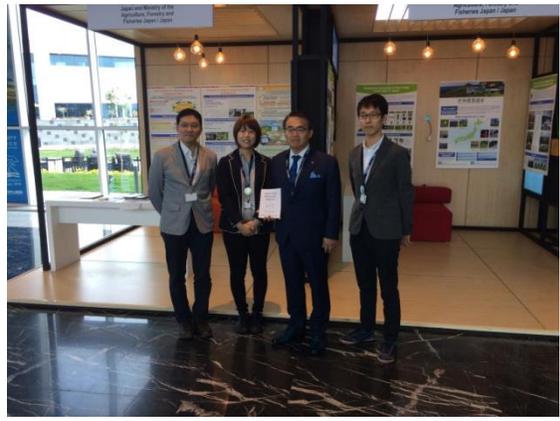
現地での活動：日本ユース

UNDB-Day及び ブース展示のお手伝い

一日掛けで行うUNDB-Dayにおいて、
スタッフとして参加。
ブースでは展示の説明に加え、愛知
県知事にユースの活動の説明も行った。



←UNDB-DAY



環境省・林野庁ブース前にて
愛知県知事と→

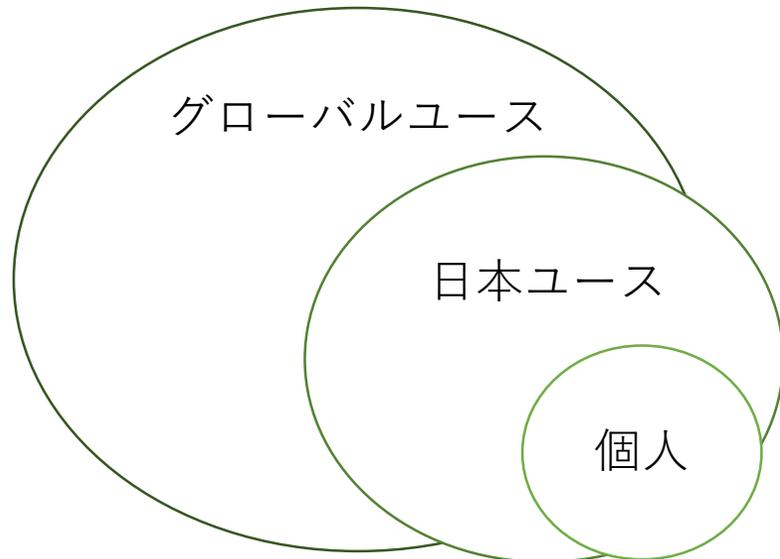
独自活動のチャレンジ

各国のユース団体のネットワークに関する
アンケートを行った。現在も継続中。
ペーパーレスCOPに則り配布資料のQRコード
化も実施。

<p>Please answer the questionnaire about youth</p>  <p>Japan Youth Biodiversity Network.</p>	<p>Please read our document.</p> <p>"Introduction booklet of JYBN". "Abridged Version Outlook on Youth Activities for Biodiversity".</p>  <p>Japan Youth Biodiversity Network.</p>
---	---

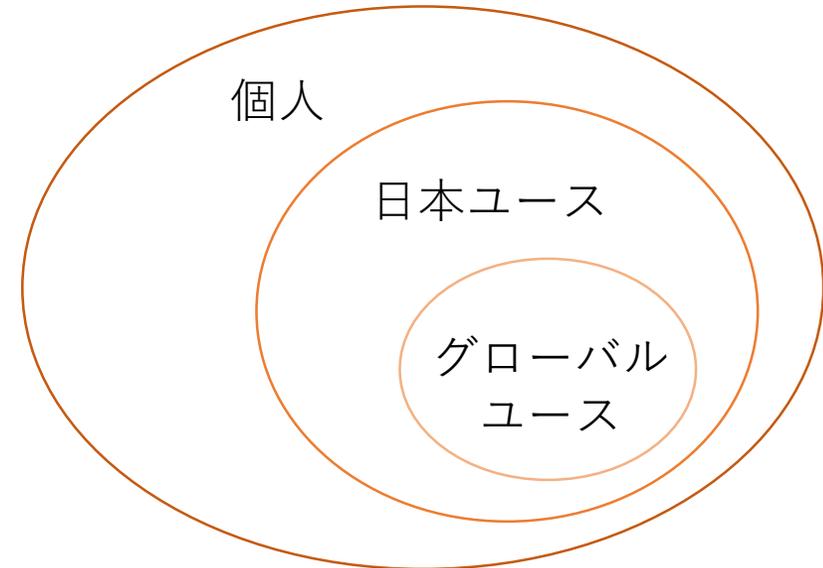
COP14に参加して思うこと

組織内での立場



一丸となって活動をする必要がある。

考えや想いの強さ



自分個人の主張を持つ必要がある。
自分の考えに共通する部分があるか。

「自分はどんな想いで、何をしたいくてここにいるのか。」
経験が目的ではなく、終わった後の目標までを、
自分の中ではつきりとさせておく必要がある。

自己紹介

矢動丸 琴子(やどうまる ことこ)

千葉大学大学院園芸学研究科博士後期課程1年在籍。

専門は環境健康学・人間植物関係学・環境教育学。

JYBNへは2018年4月に加入し、同年10月より第3次運営の幹事。

現政策提言の国際チームのリーダー。IUCN-J事務局アシスタント。

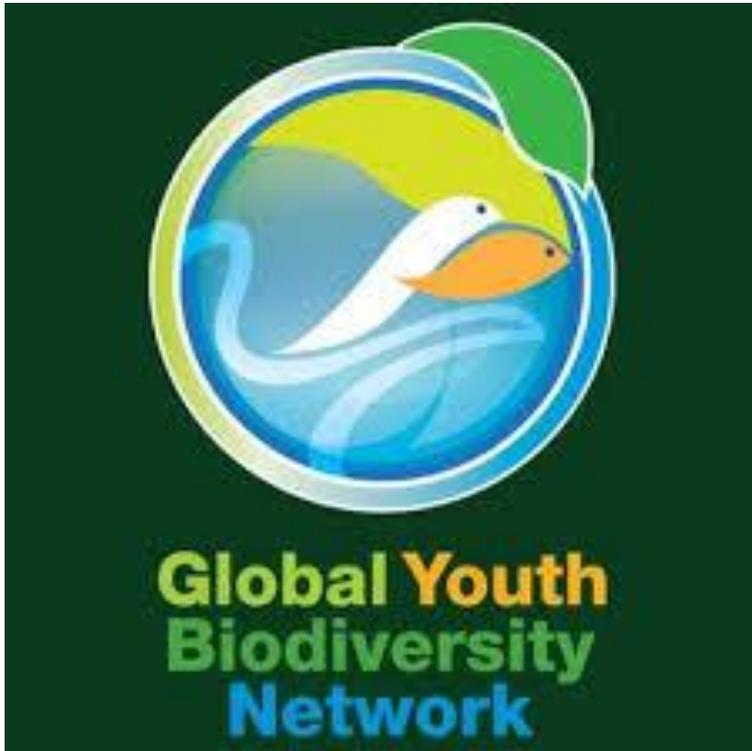
注目議題：生物多様性の主流化、ポスト2020枠組



2018.12.18発表資料 無断引用・転載禁止



GYBN(Global Youth Biodiversity Network)



GYBNのロゴマーク

生物多様性喪失を防ぐことを目的とする
世界中のわかものネットワーク

今回はドイツ・ブラジル・ボリビア
カナダ・メキシコ・ケニア・マダガスカル
南アフリカ・インド・シンガポール
フィリピン・中国・日本からの約40名で活動

●本会議場での発言

★ユースとして各議題に対して発言

★ユースにも席が設けられ立場が確立されている



「野心と意志があれば2年間で達成できることはまだたくさんあります。(中略)
私たちが2年間に過去の過ちから学び、成功したCOP15と強力で実行可能な北京における2020年以降の合意のための強力な基盤を構築するために、私たちはこれを自分自身、子供たち、そして未来の世代に捧げます。私たちは皆さんと一緒に働く準備ができています。一緒にやりましょう！」

●ブースの運営

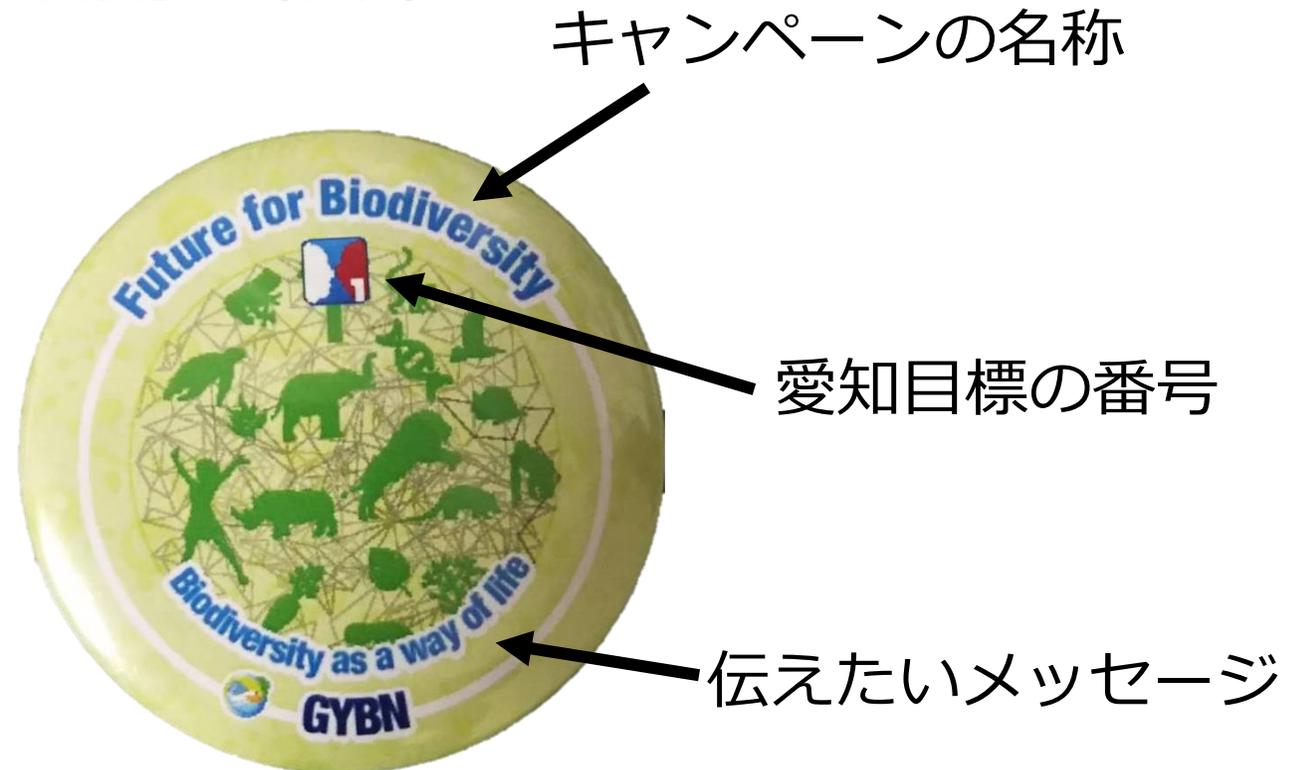
★缶バッジとポストカードでの愛知目標のキャンペーン

★写真を貼り各国ユースの活動を紹介



GYBNのブースの様子

2018.12.18発表資料



キャンペーンの名称

愛知目標の番号

伝えたいメッセージ

缶バッジの例(愛知目標1)

無断引用・転載禁止

GYBNの活動：サイドイベント①

- 各国ユースのイニシアチブの紹介
 - ★インド、ドイツ、インドネシア、フィリピン、エジプト、中国のユース延べ9名によるイニシアチブの発表



発表を行う中国ユース

◎中国ユースの現状

- ・生物多様性条約に関する情報や知識が少ない
→多くの情報の共有、能力養成活動、条約会議への参加機会の獲得が必要

◎ユース政策提言WS(所属NGOにて)

- ・2日間に渡る政策提言WS
- ・①成功事例の共有②方法論③練習の3段階での構成
→WSの結果10テーマの国家向け提案と5つの地方向け提案を参加者が行い大きな成功が得られた

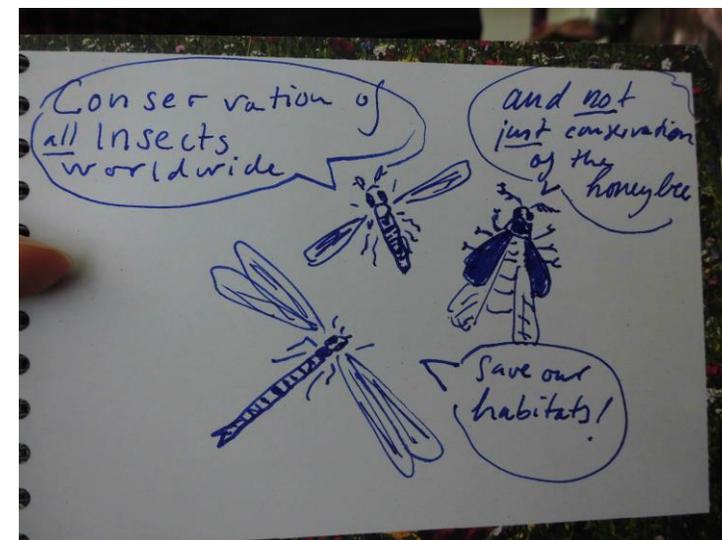
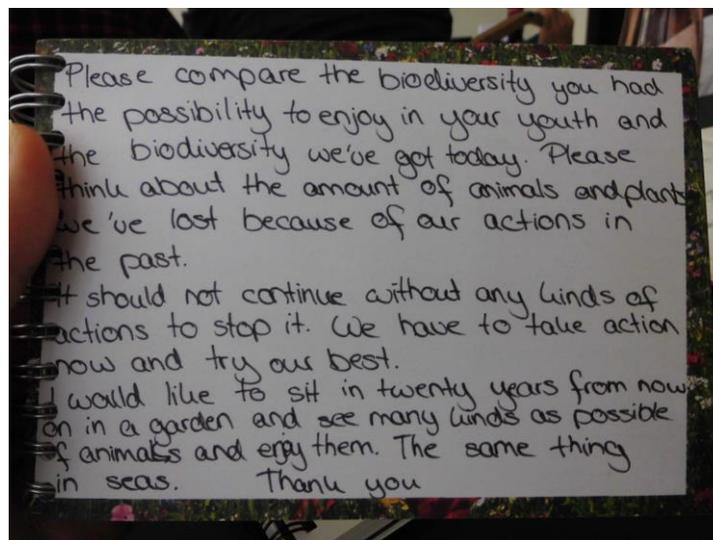
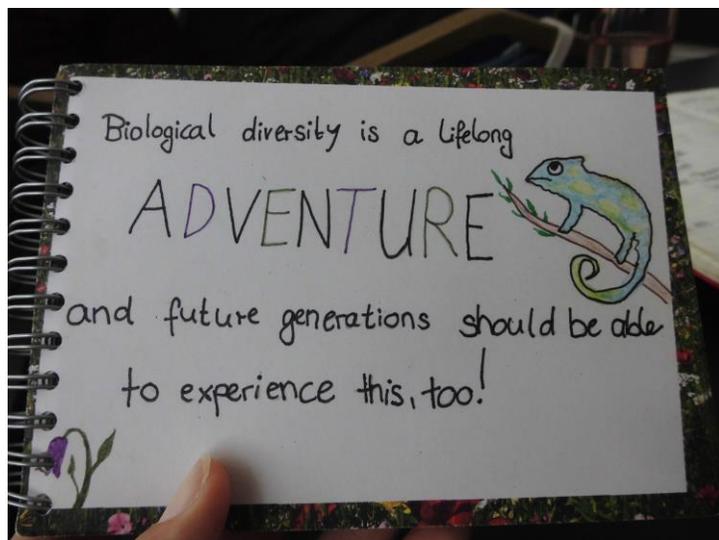
GYBNの活動：サイドイベント①

●各国ユースのイニシアチブの紹介

◎ドイツユースによるポストカードキャンペーン

- ・若者の意見を1つ1つポストカードに記載し1束に集約するキャンペーンの実施

⇒ この事例を参考に来年から日本でも実施予定(現在準備中)



GYBNの活動：サイドイベント②

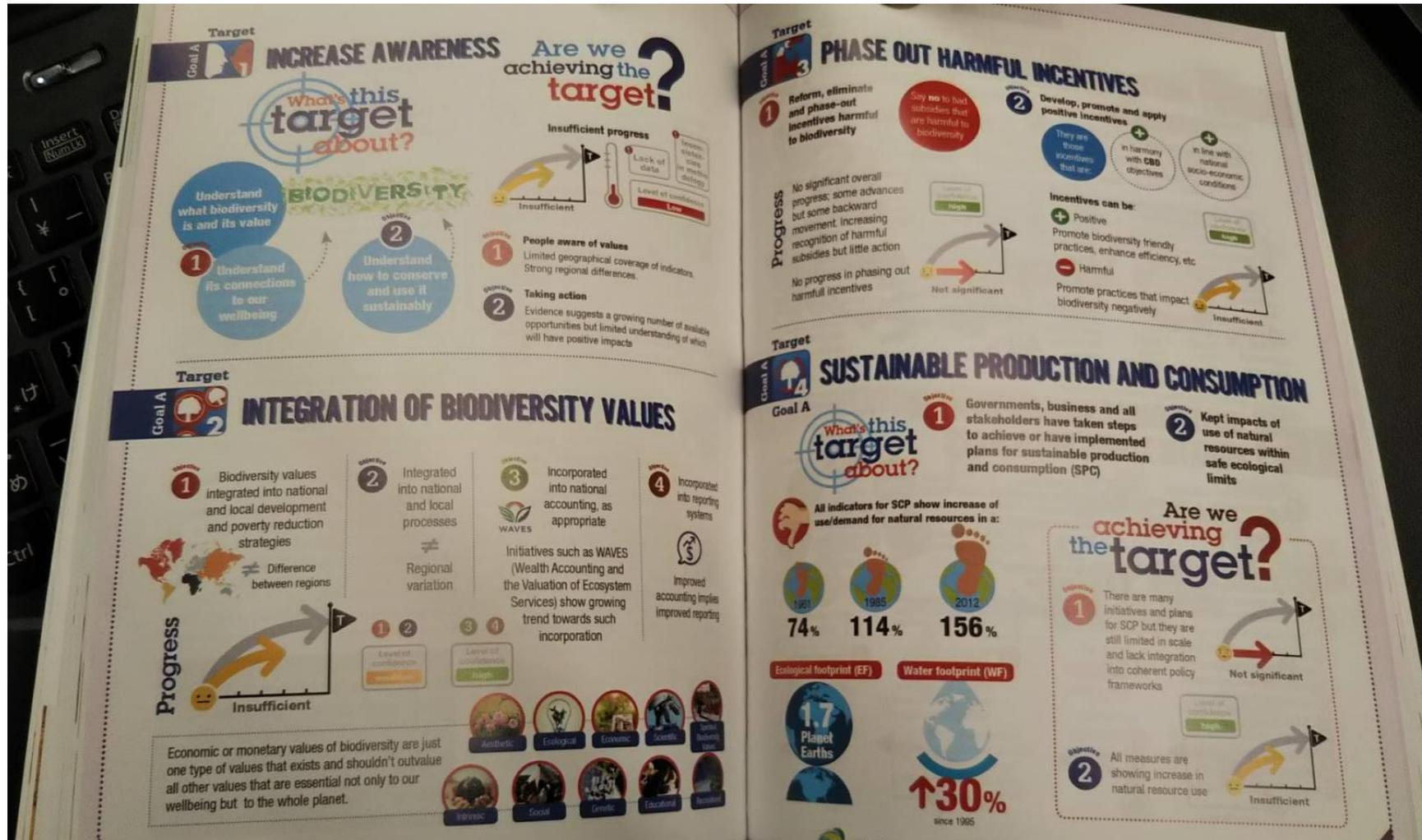
- CBD in a Nutshell 第2版完成！出版イベント
 - ★ 生物多様性条約への参画のためのガイドブック
 - ★ 第1版はCOP13(2016年)に出版
 - ★ 各愛知目標について視覚的に理解が可能なように改訂



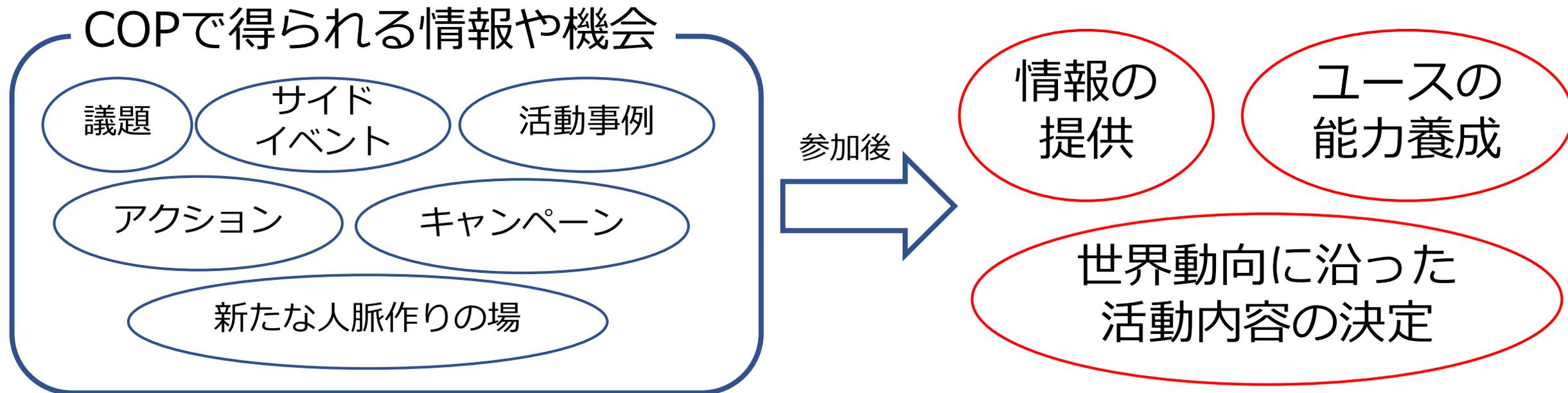
CBD in a Nutshell 第2版 2018.12.18発表資料

無断引用・転載禁止 GYBNと関係者による集合写真

●CBD in a Nutshell 第2版完成！出版イベント



COP14に参加して思うこと



★自らで体験したことをユースを含む専門家ではない方々にわかりやすく伝える重要性の再認識(報告業務)

★日本国内での活動に得た情報をどのように活かしていくのか？

⇒2020年に愛知県にて全国ユースフォーラムを開催予定(計画中)

最後に広報：お待ちしております！！



●日時：1月18日(金)19:00～21:00 ●申し込み：右のQRコード、
又は下記メールアドレスにて

●場所：中央区環境情報センター

●参加費：無料

Mail:
biodiversity.youth.network@gmail.com

ユースの視点や
活動に特化した
COP14の報告会

関連項目として
能力養成WS@インド
の内容も報告予定！

申し込み受付中！！

主催：生物多様性あかものネットワーク（団体の詳細情報はこちらから↓）

●HP: <https://biodiversity-youth-network.jimdo.com/> ●2018.12.18発表資料 無断引用・転載禁止

Convention on
Biological Diversity
GUARDING LIFE ON EARTH

UN BIOD
CONF
Meeting in Sharm
COP 14 - CP
Sharm El She

ご清聴ありがとうございました



Mail: biodiversity.youth.network@gmail.com

HP: <http://biodiversity-youth-network.jimdo.com/>

Twitter: @wakamononet

FB: <https://www.facebook.com/biodiversity.youth.network/>